

2019年度 生活クラブ風の村 自主監査報告書

報告事項		内 容	
被監査事業所名		生活クラブ風の本部	
監査実施日		実施日時： 2019 年 10月 31日（木）14:00～14:30	
監査結果		<p><監査人の総評> 各部署の専門性は高く、マニュアルの統一がしっかりしている。 担当部署の自分の業務にのみ精通している様子がある反面、他部署・他担当については、理解が薄い様子が感じられた。 車いす利用のスタッフ用に、机を工夫するなど環境への配慮がみられた。 10の基本について、換気についてのみの活動となっていた。本部は事務機能が中心であるが、残りの項目に対しても意識を高める工夫が必要と思われる。</p> <p><被監査事業所のコメント> 本部は5部署に分かれて異なる業務をそれぞれ担当している。そのため所属と異なる部署の業務については理解することはできていない。しかし、連携することは必須なので協力することを常に意識している。 10の基本ケアを含め基本姿勢（行動基準小冊子）の項目は本部では業務の中で実行する項目は少ない。「換気」は実行できるため毎日定時に行っている。基本ケア・基本姿勢の重要性を本部職員も理解し自発的に興味を持つことが大切であるため、毎日の朝礼時の唱和と感想ではすべての項目を対象としており、理解するよう努めている。</p>	
監査項目		監査人	被監査事業所 本部
大項目	中項目	【観察と聴き取りによるGOODPOINTと改善が必要と思われる点】	【回答 改善策(期日)】
K A Z E G R A M （ 風 の 村 業 務 マ ニ ュ ア ル ）	①人事発令について(人事課)	KAZEGRAM*に添って できていた。	
	②統一書式について(各部)	KAZEGRAMに添って できていた。 事業部に関しては、活用していない書類もあるようだった。整理が必要と思われる。	
	③車両・会議室・備品について(総務課)	KAZEGRAMに添って できていた。 走行距離の管理ができていないことについて、気になった。	走行距離の記載欄を設ける。
	④(実地指導)終了後の対応について(総務課)	KAZEGRAMに添って できていた。	
	⑤(個人情報保護管理)受付について (総務課)	KAZEGRAMに添って できていた。	
	⑥(内部経理監査)受付について (総務課)	KAZEGRAMに添って できていた。 全所長と事務担当者にも配信されているとのこと。	
	⑦(変更届) 手続きについて(事業管理課)	KAZEGRAMに添って できていた。	
	⑧(利用契約書・重要事項説明書) 作成・管理のルールについて (事業管理課)	KAZEGRAMに添って できていた。	
	⑨賃金計算について (請求課)	KAZEGRAMに添って できていた。	

2019年度 生活クラブ風の村 自主監査報告書

監査項目		監査人	被監査事業所 本部
大項目	中項目	【観察と聴き取りによるGOODPOINTと改善が必要と思われる点】	【回答 改善策(期日)】
(風の村業務マニュアル)	⑩賃金データ作成・報告について(請求課)	KAZEGRAMに添って できていた。	
	⑪(ワーカー登録)ほのぼのシステムへの登録について(請求課)	KAZEGRAMでは、書面でのやり取りとなっていたが、現状はkintone*で同時に共有し対応できるようになっているとのこと。	
	⑫(登録) 新規登録について(経理課)	KAZEGRAMに添って できていた。	
	⑬小口現金の入出金時の管理について(経理課)	KAZEGRAMに添って できていた。	
	⑭事業収入の入出金時の管理について(経理課)	KAZEGRAMに添って できていた。 現金でのやり取りは非常に少ないので、月に1度程度とのこと。	
10の基本ケア	換気について	健康管理のためにも、時間を決めて行っている。朝礼時 昼 3時。	
		10の基本ケアについて、現場経験があるため質問に答えることができていると答えた職員がいた。	現場経験があるために対利用者を想定した回答ができる、もしくは経験をふまえて回答できる、という意味だと思われる。現場経験がない職員でも読み合わせ等を通して理解に努めている。
		事業管理課自体が、席にいないことが多いので、行動基準冊子を唱和し感想を述べあっている。	
		「10の基本は介護部門がやること」との発言があった。	回答した職員とのやり取りが不明なため発言の詳細はわからない。本部では利用者への援助業務ではないため、10の基本を利用者に対して実行することはできず、実際に行うのは介護現場という意味だと推察する。換気は本部でも必要であり実施可能なので実行している。
接遇	身だしなみ	できている	
	言葉遣い	できている	
	環境	「刺又」の用意があるが、使い方については周知されていない。 ユニバーサル就労の方への対応として、職員の机の高さに工夫、声の大きさに気が付くように、デシベルの表を掲示している。	刺又の有用性を含めて検討する。 設置が継続となった場合は使用方法の研修を行う。
情報共有(職員間)		月に一回、各部の会議がある。その他は、メールなどでの情報共有をしている。	各職員にパソコンが割り当てられているという利点をいかした情報共有をしている。

*kintone サイボウズ社が提供する職員間のコミュニケーションシステム。パソコンやスマホなどを通じて情報発信や共有ができる。